

2018年7月11日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

ISI-Dentsu of America, Inc.

## ISID アメリカが米 Gigster と提携、 先端技術による R&D 支援プログラムを日本企業に提供

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISID)の子会社である ISI-Dentsu of America, Inc.(本社:米国ニューヨーク州、President & CEO:木村 憲司、以下 ISID アメリカ)は、Gigster Inc.(読み:ギグスター、本社:米国カリフォルニア州、Co-Founder & CEO:ロジャー・ディッキー、以下 Gigster)との業務提携に基づき、日本企業を対象に、先端技術を駆使したスピーディーな R&D を支援するプログラム「Innovation Accelerator」(以下、本プログラム)の提供を本日より開始します。

### ■背景とねらい■

あらゆる業界でデジタルトランスフォーメーションが進展する中、最先端のテクノロジー企業が集積するシリコンバレーには、多くの日系企業が R&D 拠点を構え、その数は近年さらに増加しています。事業アイデアをスピーディーに実現するためには現地の優れたエンジニアやデザイナーとの協業が不可欠ですが、世界的な IT 人材の不足や人件費高騰の影響を受け、こうした拠点の多くが体制の構築もままならないという課題に直面しています。

このような日系企業のニーズに応じ、ISID アメリカでは、2013 年に開設したサンフランシスコ・オフィスが中核となり、企業の先端技術を活用した R&D を支援するテクノロジーパートナーとしての活動を加速させています。具体的には、エンジニアリング、デザイン、データ解析など多分野に跨がる ISID アメリカのプロフェッショナル・チームが中心となり、現地の著名なデザインファームやテクノロジー企業と連携して、技術トレンドのリサーチから、サービスのデザイン、プロトタイプング、MVP (Minimum Viable Product<sup>※</sup>) 開発、検証までを機動的に行う体制を構築しています。これまでに、大手銀行やクレジットカードブランド会社、大手旅行会社等と共同で、チャットボットや音声エージェント技術などを用いた新規サービスのプロトタイプ開発や技術検証を多数実施してきました。

本プログラムは、これらの取り組みを通じて蓄積された ISID アメリカの知見と、Gigster が保有する最先端の開発プロセスやワークショップ運営等のノウハウ、ならびに数千人におよぶシリコンバレーのトップクラスのエンジニアやデザイナーのコミュニティとを組み合わせることでスケールアップし、日本企業向けサービスとして体系化したものです。両社は本プログラムを通じ、事業アイデアを世界最先端の質とスピードで実装する体制とサービスを提供することにより、日本企業のイノベーションへの取り組みを強力に支援してまいります。

### ■Gigster について■

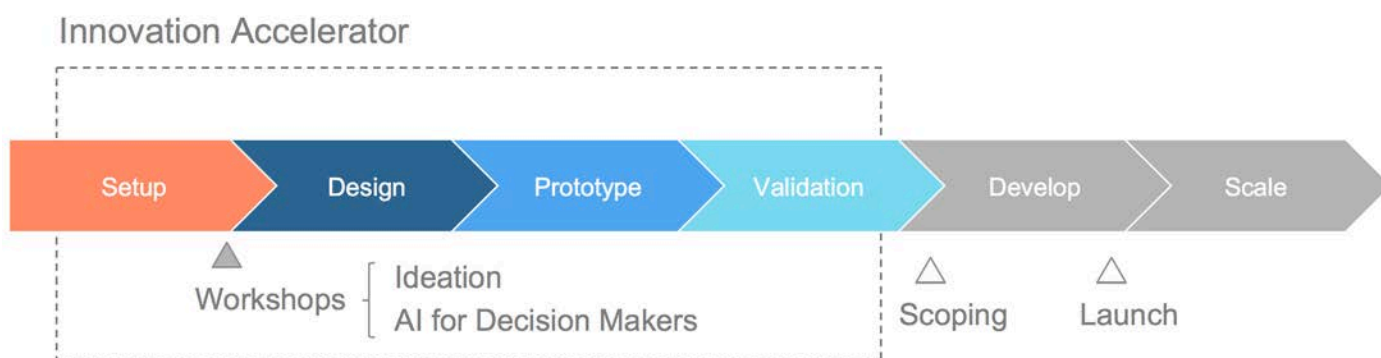
Gigster は、2013 年に著名ベンチャーキャピタルである Andreessen Horowitz の支援のもと設立された、先端テクノロジーを用いた高品質なソフトウェア開発サービスを提供する企業です。同社は、トップクラスの技術を持つフリーランスの開発者や技術者、デザイナー、プロダクトマネージャーから成る世界最大規模のネットワークを構築し、それらを科学的なアプローチでプロジェクト管理し品質と効率を高めています。最適なソフトウェアはビジネスの加速に大いに貢献します。Gigster のミッションは、あらゆる業種やサイズのビジネスに対しても、オンデマンドでトップクラスの開発チームを提供することです。URL: <https://gigster.com/>

## ■プログラム概要■

本プログラムは、先端のテクノロジーとプロセスで日本企業の事業開発における R&D を促進する共創型サービスです。ISID アメリカと Gigster の混成プロフェッショナル・チームが、課題の整理や戦略立案の議論から参画し、各エクスパティの観点から課題に対する解決策のアイデア出しやそれ以降のプランニングを支援します。また、機動的にハイスキルのデザイナーやエンジニアをアサインし、その後の MVP 開発のステップを進めていきます。

全てのステップを提供するのはもちろんのこと、プロトタイプ開発に入る前までのステップのみを切り出して提供することも可能です。また、その後の本格開発やローンチまでもスムーズに体制拡大して進めることが可能です。

### <Innovation Accelerator プログラムの流れとサービス概要>



ステップ名	サービス概要
Setup	課題の整理、戦略とターゲットマーケット/ユーザの確認
Workshop	課題に対する解決策のアイデア出しと POC プランの策定 後続フェーズに向けたプランニング・見積もり等
Design	コンセプトレベルのデザインとプロダクト戦略の策定 利用テクノロジー/アーキテクチャの検討と開発戦略の策定
Prototype	実プロダクトレベルのデザインまたはプロトタイプ開発
Validation	ユーザテストの実施とインサイト整理

#### Innovation Accelerator プログラム詳細

- Innovation Accelerator Overview [https://isidentsu-lab.com/s/accelerator\\_overview.pdf](https://isidentsu-lab.com/s/accelerator_overview.pdf)
- Ideation Workshop [https://isidentsu-lab.com/s/accelerator\\_ws\\_ideation.pdf](https://isidentsu-lab.com/s/accelerator_ws_ideation.pdf)
- AI for Decision Makers Workshop [https://isidentsu-lab.com/s/accelerator\\_ws\\_ai.pdf](https://isidentsu-lab.com/s/accelerator_ws_ai.pdf)

ISID アメリカ R&D グループの Web サイトはこちら <https://isidentsu-lab.com/>

※ Minimum Viable Product: 製品/サービスを提供する上で必要最低限の機能のみをもつ状態のもの

#### 【サービスに関するお問い合わせ先】

ISI-Dentsu of America, Inc. R&D Group 公門 E-Mail: info@isidentsu-lab.com

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 榎木 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

### 関連プレスリリース

- ・ JCB と iSiD、AI を活用したチャット bot による海外ガイドを開発 ～米国シリコンバレーにて実証実験を開始～ (2017 年 1 月 17 日)  
<https://www.isid.co.jp/news/release/2017/0117.html>
- ・ 米国シリコンバレーでの「CUI」に関する実証実験について ～邦銀初 Amazon Echo や Facebook bot を活用した新しいチャネル・コミュニケーション～ (2016 年 8 月 15 日)  
<https://www.isid.co.jp/news/release/2016/0815.html>

### <電通国際情報サービス(iSiD) 会社概要>

社名	: 株式会社電通国際情報サービス(略称:iSiD)
代表者	: 代表取締役社長 釜井 節生
本社	: 東京都港区港南 2-17-1
U R L	: <a href="https://www.isid.co.jp">https://www.isid.co.jp</a>
設立	: 1975 年
資本金	: 81 億 8,050 万円
連結従業員	: 2,716 名(2017 年 12 月末現在)
連結売上高	: 83,423 百万円(2017 年 12 月期)
事業内容	: iSiD は、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支えるテクノロジー企業です。金融業務や製品開発の領域で創業以来培ってきた知見に加え、人事・会計など企業活動の根幹を支えるシステム構築の実績、電通グループのマーケティングノウハウ、そして IoT やロボティクス、AI など先端技術の社会実装に向けたオープンイノベーションへの取り組みにより、社会と企業の課題解決に貢献する、価値あるソリューションを生み出し続けています。

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。